



とつか 2020年5月会報 第307号

国際会長(IP) Jennifer Jones (オーストラリア)

2019 主 題 “Building today for a better tomorrow”

スローガン “On the MOVE!!” 「さぁ動こう!!」

アジア太平洋地域会長(AP) 田中 博之 (東京多摩みなみ)

主 題 “Action!” 「アクション！」

スローガン “With Pride and Pleasure” 「誇りと喜びを持って」

東日本区理事 (RD) 山田 敏明 (十勝)

主 題 「勇気ある変革、愛ある行動！」 “Innovation with courage, action with heart!”

副 題 「みんなで力を合わせて、1・2・3」 “Hop, Step and Jump with all Y'smen”

2020 湘南・沖縄部部長(DG) 森田 幸二郎(沖縄)

主 題 「ワイズを社会に広める基盤の再構築をする」

クラブ会長 浦出 昭吉 「メネットの支援に感謝し、30周年に向けてさらに仲間を！」

副会長 吉原 訓 書記 加藤 利榮 会計 岡 進

メネット事業 吉原 和子 担当主事 瀬戸 俊孝

第23回区大会

(北海道・帯広)

は

中止に



会員ひと言

土方 喜美代

『新型コロナの終息を願って』

とうとう緊急事態宣言まで発令されました。

イベントはすべて中止となり、公共施設や商業施設も閉り、戸塚の街も人影が少なく、本当に寂しい風景となってしまいました。

クラブの皆様ともお会い出来ないまま、お元気にされておられるかと、案じております。

私は訪問介護の仕事をしておりますので、まったく休みなしの毎日です。皆さんのほとんどが独居のお年寄りですので、外出もままならずヘルパーの訪問を心待ちにしております。身体介護はしていませんが、お掃除・洗濯・調理…など、例の‘3つの蜜’のうちの‘密接’は避けようがありません。私が気を付けなければならないことは、私自身が‘感染’しない、‘菌’を持ち込まない、この二つに尽きます…。

利用者さん宅に着いたら、先ず‘手洗い’‘うがい’その後ご挨拶…と、まことに気を遣う日々、かなり疲労困憊の毎日です。出来れば家に居て休みたいと願う日もありますが、人手不足でままならず、一日も早いコロナの終息を待つだけです。今までの日常が、心置きなく送れる「何でもない毎日」の大切さを改めて思い知らされている今日この頃です。

◎今月の聖句◎

わたしに向かって、『主よ、主よ』と言う者が皆、天の国に入るわけではない。わたしの天の父の御心を行う者だけが入るのである。

—マタイによる福音書7章21節—

名ばかりのクリスチャンや口先ばかりの信仰者は天国に入ることは許されないという厳しい警告です。五旬節（ペンテコステ）を迎え、愛を柱とする律法を授けられた記念すべき時に、日ごろの私たちはいっそう謙虚に静かに反省したいですね。

強調月間 EF / JEF

EF (Endowment Fund) は国際ワイズ発展のための特別基金をいい、国際協会が管理・運用する。US \$120 以上寄付の場合、国際の「ゴールデンブック」に記帳される。区の国際・交流事業主任が推進を担当する。

JEF (Japan East Y's Men's Fund) は東日本区ワイズ基金のことで、区の継続的奉仕活動を支えるための拠金、区の資産になる。「奉仕帳」に記帳され、区に永久保管される。「東日本区ワイズ基金規則」により運用され、同規則により、「東日本区ワイズ基金運営委員会」（常置委員会、高田一彦委員長・千葉）が運用の任に当たる。EF の国内版。

4月在籍者数	4月出席者数	出席率	ファンド	B	F	B	F	CS・TOF・A S F	B A P Y	ロ	バ
メ ン	13	メ ン	0	0%	(円)	(g)	(円)	(円)	(円)	(円)	(円)
メネット	8	メネット	0			0	0	50,000	0	0	0
		ゲストら	0			0	0	0	0	0	0
計	21	合 計	0			0	0	50,000	0	0	0

★強い義務感を持つよう 義務はすべての権利に伴う★

☆ ‘竹の子例会’ までが…☆

吉原 訓



この地域では、散る桜から一週間くらいが‘竹の子掘り’の旬です…。

今年は、サクラの開花が記録的に早くなり4月4日が第1例会の‘竹の子例会’として決まり、会員諸兄宛てに連絡していただきましたが、関係者の配慮空しく、当日には、竹の子は姿を現す気配がありませんでした。孟宗竹は、ソメイヨシノより季節の移り変わりに鈍感なのかもしれませんね…。

加えて、この新型コロナウイルス騒ぎです。やむなく‘延期’ではなく‘中止’という会長決断の連絡が入りました。前後して、東日本区大会やすべてのクラブの例会も中止になったようです。折から、YMCAで行っているプログラムも、ごく

一部を除いてすべて中止という連絡も入りました。大変残念なことです、やむを得ない措置だと思いました。

例年ですと、写真にある様な成果と笑顔が跳ね返ってくるのですが、今年はその影すら見る事ができませんでした。因みに、浦出会長が両手にお抱えになっておられる逸品(?)は昨年のも、また、右の2枚の写真は数年前に写したもの、皆さんのこの笑顔、アルジにとり千金の重みがあります。➡



所で、最近のマスコミの報道は、政府の対応は失敗であると‘ある政党党首’が言っているとか…、この騒ぎで‘DV’が増えているとか…伝えています。

この際、一野党が言っている報道は全く伝える意味がありません。与党も野党もありません、日本も他国もありません。この事に対しては、いかにウィルスをお隣に伝染させないようにするか、いかにお隣からもらわれないようにするか、世界的規模で一人ひとりが真剣に立ち向かわなければならない時に直面しています。

DVの増加にコロナウィルスは関係ありません。DVは夫婦や家族間での問題です。

今こそ各人が社会に対する責任の重さを噛みしめ、自覚し、行動すべき時と考えます。一日も早い平安の日々を取り戻すために…。



☆第3回湘南・沖縄部評議会から☆ 加藤 利榮

標題の会が、メール・FAXによる遣り取りの形で行われた。まず、4月14日付・森田部長名で二つの議案が部役員宛て、「審議期限：4月17日・採決期限：4月20日・結果報告：4月25日」で送付された。以下、メールのみからの遣り取り等を略記する。
議案1：第1回・第2回評議会議事録の承認方について
議案2：部長選出方法について

◎各クラブからの意見をメールの発出順に記載する。

①横浜つづきクラブ：議案1「監事講評をより具体的に記載」の上、承認する。議案2「部長選出方法」でなく「部細則の改訂」とすべきで、「なお」以下は別途協議すべきであろう、よって、反対する。(辻さん)

②横浜クラブ：議案2「輪番制には異論はないが‘古いクラブ順’は決めていない、再検討の要あり。(古田会長)

③横浜とつかクラブ：上記両クラブに同じ。(浦出会長)
なお、参考資料として「歴代部長名簿」を送付した。

④厚木クラブ：議案1は賛成、議案2については、輪番制は決めたが、「なお書き」については要検討。(佐藤直前部長)

⑤鎌倉・つるみ・厚木・つづきの各会長から同趣旨の発言あり。

⑥金沢八景クラブ：議案1・2とも賛成(会長)

◎これに対して、伊藤部書記から1号議案・各位ご指摘の部分は次回から改め、2号議案は取り下げる旨、回答あり。

◎ 4月25日、以上の内容をまとめた報告が伊藤書記からなされた。
以上

☆再び湘南とつかYMCAに☆ 山中 奈子



1994年2月、湘南とつかYMCAが出来上がった時にオープニングスタッフとしてお世話になってから早や25年、再びお世話になることとなりました山中奈子と申します。横浜YMCAに入職して30数年を迎えます。その多くをこの湘南とつかYMCAで過ごすこととなり、YMCAの集大成を再びここで迎えられそうなのは私にとっても嬉しく、また責任あることと思っています。

家庭では3人の子を持つ母親としても奮闘しております。長女は昨年度までとつか専門学校でお世話になっており、今年から厚木専門学校で仕事をしております。長男は就職、次女は中学進学、主人と私が異動と何かと慌ただしい日々を過ごしております。山が大好きで、子育てが落ち着いたここ2~3年は、休日に独りで山歩きに出掛けることが趣味になってきています。

現在は、発達障がい支援と困窮者支援を中心としたオルタナティブ事業本部長を兼任しております。また、湘南とつかYMCA学童クラブ・東戸塚小学校放課後キッズクラブの予算責任者もしております。多くの業務を担当させていただくことで、YMCAの多様性をフルに活用できるよう働きを強めていきたいと思っております。まだまだ若輩者ではありますがどうぞよろしくお願いいたします。

(山中館長さん、ご挨拶、おめでとうございます。)

湘南とつかYMCAオープンと同時にできた私たちのクラブです。
また お世話になります。こちらこそ宜しく…。(会長)

【特別寄稿】

☆クラブの1年を振り返って☆



元日本YMCA同盟総理事 島田 茂(とやまクラブ書記) 横浜とつかクラブの皆様、いつもお覚えくださり感謝です。とやまクラブは、昨年5月11日にチャーターしてから、お陰様で1年になりました。皆様のクラブでも例会が開催できない状況にあるかと拝察しますが、とやまクラブも、この3月から例会を中止しております。まだ1歳そこそこのヨチヨチ歩きのクラブなので、例会ができないことはクラブの成長にとって、たいへん厳しい状況です。今回、敬愛する加藤さんから原稿依頼を頂いたことを通して、クラブ書記として、清水淳会長と富山YMCA 常議員会議長の中島完一副会長と、とやまクラブ設立のためにチャーターの1年前から準備をしてきた期間を含め、振り返るチャンスを与えていただき、感謝いたします。

この一年間で特筆すべき活動は、富山YMCAと協働して、9月20日(金)富山県民会館で「夢がかなうなら～もう一つの生き方」のテーマで、NHKチーフプロデューサーで横浜YMCA常議員の田中廣喜さんとメイカ・ウィッシュ・オブ・ジャパン代表の大野寿子さんを講師にお招きし、特別プログラムを開催したことです。富山YMCAの特徴的な事業であるフリースクールの生徒やユースリーダーら約80名の若者が参加し、障がいや難病など困難な中で生きている子どもたちの夢の実現をサポートしている「メイカ・ウィッシュ」の素晴らしい活動の映像とお二人のお話しの、参加者は感動しておりました。

さて、現在、クラブの会員数は18名ですが、この一年間の例会出席率は50%前後となかなか出席率を増やせない状況にあります。また、新会員獲得もままならないため、今の、この休会の機会に、今後のクラブ例会の在り方などについて、立て直すことを考えたいと思います。

私自身は東京に行くことも多く、新型コロナウイルスの影響が収まりましたら、是非、ビジターとしてとつかクラブの例会にも出席したいと思っております。

とつかクラブ皆様のご健康をお祈りしています。

(島田茂様 お忙しい中、素敵な原稿を有り難うございました。)

レザン通信

横浜YMCAワークサポートセンター 相馬 良文



今年は暖かな冬のためか、「休眠打破」が無かったことなどから、サクラが時間差で開花しました。例年ですと、柏尾川堤にはたくさんの売店が並び、「桜まつり」が催されます。今年は、「自粛」「延期」「中止」が合言葉のように聞こえてきます。

レザンでは、3月27日に「お花見ウォーク」を行いました。柏尾川堤のお花見を歩きながら楽しみ、地域の小売店に行き、感謝会に必要な「買い出し」や「昼食」を求めました。レザンを中心に、区役所付近から南戸塚ケアプラザ方面まで1時間30分ほどの時間を楽しむことができました。同じ場所にいることが苦手な方や歩きながら会話が進む方など、レザンらしいお花見になりました。

4月1日に藤沢YMCAからの異動にて新たなスタッフが加わりました。「笹尾 亜貴さん」です(写真)。尾原館長の後任に就いていただく予定です。

皆様とお顔合わせさせていただくことを楽しみにしております。

立夏随想

☆ワイズ以外のお話して…☆ 加藤 利榮

茅ヶ崎市内の80人ほどが入居する特養ホームに週2日、通い始めて10年余り、いつの頃からか、月1度の割で三階の広間に40人以上の皆さんを前にお話しする機会が与えられ、私より年配の方の多い顔ぶれを相手に、ワイズで培った地域奉仕の感覚で、その月の歳時的なお話しを中心に今日に至りました。(ノロウィルスで、ここ2回ほどお休みに…。)

最近ではカトゥ・ファン(?)も増え、昨年5月にしたお話しを例にとるなら、『…今月は5月で‘さつき’、立夏・さつき晴れ・さみだれ…と、そろそろ初夏の陽気に…、‘卯の花の匂う垣根にほととぎす 早やも来鳴きて 忍び音もらす夏は来ぬ’、佐々木信綱作詞・小山作之助作曲、明治29年に発表、‘日本の歌百選’にも選ばれた名曲‘夏は来ぬ’ですね、ご存知の方も多いかと思えます…。』といった調子で…。歌う方がおられればマイクを回してスタッフのピアノ伴奏で…といった具合、さらに続けて、『…そう、5月は、また端午のお節句、‘…大きなマゴイはお父さん 小さいヒゴイは子どもたち 面白そうに泳いでる…’、これも‘日本の歌百選’に入っていますが、どういう訳か、この歌に‘お母さん’が登場しません…、そう、その通り…、男の子のお節句だからですね…。』(拍手)そして、歌う方がおられれば…ということ…。中には、‘お母さんは、3月のお雛祭りに出てたよ…。’といった野次も…(笑)。そして、中には、例によって‘だじゃれ’やら‘掛けことば’で幕に…。『…‘ここにお出での皆さんが話されるコトバ’と掛けて、‘古くなった角砂糖’と解きます、その心は…。』…? 『…では申しませう、そのココロは、‘カドが取れています…。』(拍手)…で、終わりに…。僅か、10分そこそこのひと時、かくして拍手のうちに無事、終わりを告げて…。

さて、この‘掛けことば’、次は何にしようかな…。片道20分の電車の中で考えることにしてはいますが…。ノロウィルスの一日も早い終息を願うことしきりです。

以上

☆次年度クラブ役員(案)☆ 若木 一美

◇ 会長主題: ‘咲かそう 人の輪’

【2020~2021年度 クラブ役員氏名】

会長:	若木 一美	地域奉仕事業:	吉原 訓
副会長:	吉原 訓	会員増強事業:	浦出 昭吉
書記:	加藤 利榮	国際・交流事業:	土方喜美代
会計:	岡 進	”:	岡 進
直前会長:	浦出 昭吉	ユース事業:	有田 征彦
監事:	加藤 利榮	メネット事業:	吉原 和子
担当主事:	瀬戸 俊孝	ドライバー:	川津 政義
		”:	佐藤 康子
		”:	柴原 和可
		”:	鈴木ひろ子
		ブリテン:	加藤 利榮



【前月号所載の「次年度事業計画(案)」とともに、7月に開かれる総会(第1例会)の席上、皆さんの承認を頂かなければなりません。

予めご確認のほど、よろしくお願ひします。 会長】

～ケガの功名？～

今、緊急事態宣言の真っ最中です。初めは、7都府県で外出自粛が出されて、その後、全国に…。最初は、「高齢者は気を付けないと…」とか、「他県への外出は控えないと…」ぐらいで、どこか‘対岸の火事’のようなムードでした。4月16日に全国を対象に緊急事態宣言が出されてからは、一気に…。

現在、YMCAの動きは様々で、私が普段担当している健康教育（スポーツ関係）はすべて休講です。一方で、学童保育、保育園などの事業は普段と変わらず開所（園）しています。休講している私たちの部門の若いスタッフたちは、それぞれの運営している事業所へサポートしに行っています。普段は見えない他の事業の仕事もこういう機会に体験できて、それぞれの大変さ、楽しさを体験し、貴重なことを学んでいるように思います。今後、終息してもそれぞれの事業が協力して色々な新たな働きが生まれそうな予感がします。

また、私たちの働き方にも大きな変化がありました。それはWeb化が急速に進んだことです。現在、多くの会議がWeb会議になりました。最初は戸惑いながらでしたが、回を重ねるごとにスムーズになり、今ではすっかり慣れてきました。今回のような事がなければ、一気にWeb化は進まなかったのでは…？と思います（写真）。すべてを受け入れ、今できることを一つひとつ丁寧に行うこと、そして常識や限界を決めずに新しいことに挑戦することの大切さを学びました。

今年のGW（ゴールデンウィーク）は‘我慢ウィーク’と言っている



方がいました。今は再開に向け、たくさん
のシュミレーションをして、再開時には参
加者が安心して参加できる施設、プログ
ラムをしっかりと準備していきたい
と考えております。

☆今月の歳時記から☆

‘新茶 しんちゃ’ と ‘蛇苺 へいいちご’

‘新茶’、その年、新しく摘んで製造した茶のことをいう。
‘走り茶’ともいう。香気があり、新鮮な風味が珍重される。

八十八夜（今年は五月一日）を過ぎて初夏の頃、市場に売
りに出される。新茶が出まわると、前年の茶は古茶となる。
茶の産地としては、古来、静岡・三重・京都などが有名だが、
狭山・嬉野・八女辺りの茶も古くから知られている。

宇治に似て山なつかしき新茶かな	支考
たらたらと老のふり出す新茶かな	鬼城
新茶淹れ幽かにありし亡父億ふ	楸邨

次に‘蛇苺’、原っぱや道ばたでよく見かける。三つ葉をつ
けた茎が地をはっている。三、四月頃、黄色の五弁の花を開く。
五月が過ぎて緑色の大きな花托をもった紅い小粒の実を結ぶ。
すがた・かたちがいちごに似ているが、無味で人は食べない。
‘へビが食べるいちご’というイメージから、なぜか有毒と思
われているが、本来、毒気はない。

ふるさとの沼のにほひや蛇苺	秋桜子
流水に真紅うつらず蛇苺	誓子
畦道の蛇苺まで来た感じ	稔典

(乍)



☆5月・6月のこよみ☆

（現時点では、会合の見通しは一切立ちません。
状況が半明するまでお待ち願います。

おって、ご連絡申し上げます。）

～Happy Birthday～

柴原 和可さん 5月6日
若葉さん 5月29日

【掲示板】

会長

◎ 今月のプリテンは「ノロウィルス特集号」…?

- ① 徒に嘆くだけでなく、この際に何か一つワイズらしい事を…。‘マスク’然り、各自が持てるスキルを出し合い、工夫し、‘世のため・人のため’に…。
- ② 所で、「4月16日付の山梨日日新聞に、『コロナを乗り越える～心をたもつヒント』のテーマで、南極越冬隊員で料理人の西村淳さんの随筆が出ている…」と同日付で区ヒストリアンの仙洞田安宏さん（甲府クラブ）から紹介するメールが入りました。ご覧になった方もおられるかと思いますが、以下にその終わりの部分を転載します。なお、西村さんは、北海道・留萌市のご出身、今年の帯広での区大会の記念講演者に予定されていた方です。さて、どう乗り越えるか…が終わりの数行に凝縮されていました。

「…いずれ、この問題は終わる。全員無事で感染終息を迎えるためには、焦らず、休暇だと思ってやり過ごすしかないでしょう。」と。

皆さん、いかがです…。

◎ 次年度クラブ役員（若木案）の件

- ① さきに、「次年度とつかクラブの活動計画（案）」が若木次期会長から示されましたが、今回は、「クラブ役員」（案）が示されました。（前ページ）
- ② 本件についても、「註書き」にもあるように、7月の総会で皆さんの承認を頂くことになると思います。

◎ レザンの施設長交替の件

- ① 「レザン通信」に‘写真付き’でありますように、この4月1日付で、レザンの施設長が、前任の尾原萌子さんから、笹尾亜貴さんに替わりました。
- ② 尾原さんの時にもそうでしたが、落ち着きましたら鎌倉クラブに声を掛けて、合同例会をレザンで開催したいと思います。
- ③ 第2例会でのコーヒーのご提供も楽しみです…。

◎ 「特別寄稿」頂いたとやまクラブの島田さんへ

お時間を作っていただき、とつかクラブの例会にお出でいただけますよう、打合せさせていただきます。

（後記）

‘なるべく外出を控えて…’の新緑真ただ中でのプリテン編集…、皆様からの玉稿も集まり、何とか…。 REMEMBER！… ‘Change！2022’